

# 次亜塩素酸水とは

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。  
特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水とは？

- 水素、塩素、酸素が結合してできた「次亜塩素酸」(HClO)が水(H<sub>2</sub>O)に溶けだしている水溶液が「次亜塩素酸水」です。
- 有効成分の「次亜塩素酸」はヒトの体内でも白血球のなかで生産されており、私たちの体に侵入してきた異物から守ってくれています。
- 「次亜塩素酸」は、ウイルスや菌に触れると同時にそれらから電子を奪いとり酸化させることができます。それにより菌やウイルスを不活化・無効化することができます。
- 漂白剤として知られる〈次亜塩素酸ナトリウム〉も強い殺菌消毒力を持ちます。その有効成分〈次亜塩素酸イオン〉と比較して、「次亜塩素酸(分子)」は同濃度で約80倍の強度を持っています。
- 「次亜塩素酸」は、〈次亜塩素酸ナトリウム〉や〈消毒用アルコール〉の効かない耐性の強い菌やウイルスに対しても有効です。
- 「次亜塩素酸」の溶け出した水溶液 = 次亜塩素酸水は、ウイルス・菌に反応し無効化すると、それ自身は水と酸素、わずかな塩に分解されます。危険な物質が発生することはありません。
- 人体の中で作られ、人体を守るために存在していることからわかるように、「次亜塩素酸」は手肌に触れても、吸入しても、万が一飲んでしまっても人体に害はありません。

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水と漂白剤、アルコールとの比較-1

	消毒用アルコール (エタノール)	漂白剤・ハイター (次亜塩素酸ナトリウム)	次亜塩素酸水
臭い	× 強い刺激	× 強い刺激臭	◎ ほぼ臭わない
安全性	× 手肌の荒れ。可燃性	× 人体に有害	◎ 人体に安全。口内にも使用可
対ウイルス	○ ノロウイルス等 一部効果なし	◎ 高濃度が必要かつ 時間がかかる場合がある	◎ 多くのウイルスに 瞬時に有効
除菌力	○ 芽胞細菌に無効	◎ 高濃度が必要かつ 時間がかかる場合がある	◎ ノロウイルスの他 多くの範囲に有効
消臭力	× 効果なし	△ あまり効果なし	◎ 腐敗臭等強い臭いにも有効
保存性	◎ 未開封であれば 原則安定	◎ 市販の原液であれば 高濃度のため原則安定	△ 従来の次亜塩素酸水の 保存期間は2-3ヶ月

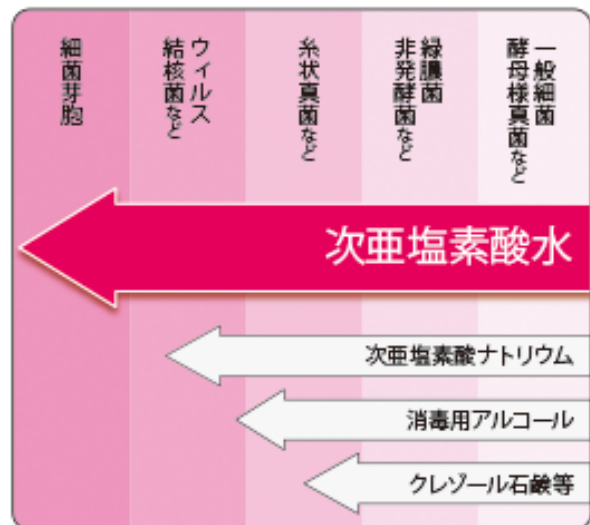
次亜塩素酸水は反応が早く、安定性が少ないのが欠点といえます。

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水と漂白剤、アルコールとの比較-2

「次亜塩素酸水」は消毒用アルコール、漂白剤に代わる最も理想的な除菌消臭剤です。

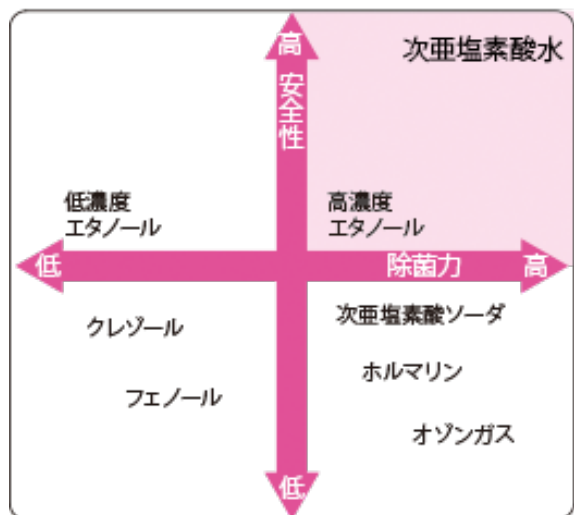


## 次亜塩素酸水はより広い範囲に働きます！

＜漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)＞、＜消毒用アルコール＞の効かない細菌、ウイルスに対しても有効に働きます！

### 厚生労働省などにより次亜塩素酸水の効果が認められた 主な細菌、ウイルス

黄色ブドウ球菌、MRSA、腸管出血性大腸菌、緑膿菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ菌、その他のグラム陰性病原、セレウス菌、ノロウイルス(ネコカリシウイルス)、ヘルペスウイルス、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス 等



## 高い安全性と高い効果！

＜漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)＞は除菌に有効な濃度では、人体に直接接触すると危険で有害です。

＜消毒用アルコール＞も手肌の荒れを招く可能性が高く、可燃性もあります。

「次亜塩素酸水」は人体に安全なだけでなく、万が一口に入れても安全です。

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 有効性について

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水の有効性について

- 2020年6月26日、独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)の検証結果により、一定濃度(35ppm)以上の「次亜塩素酸水」が**新型コロナウイルスの消毒に対して有効**であると発表されました。  
検証結果によれば、20秒で不活化を確認できています。
- 厚生労働省が過去に行った検証により、**以下の菌・ウイルスに対して「次亜塩素酸水」が有効**に働くことが確認されており、一般にもその内容が公開されています。

表2. 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの抗菌・抗ウイルス活性

病原菌・ウイルス	次亜塩素酸水 (40ppm: HClO)	次亜塩素酸ナトリウム (1,000ppm: NaClO)
黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i>	◎(<10 秒)	◎(<10 秒)
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌; 多剤耐性)	◎	◎
腸管出血性大腸菌 <i>Escherichia coli</i> O-157 H7	◎	◎
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	◎	◎
サルモネラ菌 <i>Salmonella</i> Enteritidis	◎	◎
<b>腸炎ビブリオ菌 <i>Vibrio parahaemolyticus</i></b>	◎	◎
その他のグラム陰性病原菌	◎	◎
セレウス菌 <i>Bacillus cereus</i>	△(3~5 分)	△(3~5 分)
結核菌 <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	△(~2.5 分)	▲(~30 分)
ノロウイルス(ネコカリシウイルス: <i>Feline Calicivirus</i> )	◎	○
ヘルペスウイルス (Herpes virus)	◎	◎
インフルエンザウイルス (Influenza virus)	◎	◎

出典: 「次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの同類性に関する資料」(厚生労働省ウェブサイト)

<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/dl/s0819-8k.pdf>

このほかにもこれまでに実証・確認されてきた次亜塩素酸水の有効性につきましては「一般社団法人次亜塩素酸化学工業会」ならびに「一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議」のウェブサイトに詳しい情報が掲載されています。

[参考資料]

一般社団法人次亜塩素酸化学工業会 各種検証データ・学術論文等一覧

(一般社団法人次亜塩素酸化学工業会ウェブサイト)

<https://hcia.or.jp/187>

次亜塩素酸水溶液 効能及び安全性に関するエビデンス一覧

(一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議ウェブサイト)

<https://jia-jp.net/ebi.html>

- **菌・ウイルスだけでなく、ニオイに対しても強力に働きます。他の除菌・消臭剤と比較して圧倒的な消臭力でなかなか消えない加齢臭や生ゴミなどの腐敗臭にも強力に働きます。**

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水の有効性についての比較-1

微生物・ウイルス		弱酸性次亜塩素酸水 ※1 (40ppm)	次亜塩素酸 ナトリウム ※2 (1,000ppm)	エタノール ※3 (70%・90%)
グラム陽性菌	黄色ブドウ球菌	◎(10秒)	◎(10秒)	△(3~5分)
	MRSA	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
	セレウス菌	△(3~5分)	△(3~5分)	×
	結核菌	△(2.5分)	▲(30分)	◎
	その他抗酸菌	△(1~2.5分)	▲(2.5~30分)	
グラム陰性菌	サルモネラ菌	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
	腸炎ビブリオ菌	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
	腸管出血性大腸菌	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
	緑腸菌	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)

比較

除菌効果または不活性化効果：◎ > ○ > △ > ▲ > × (無効) 出典：一般財団法人機能水研究振興財団 岡山大学

※1：弱酸性次亜塩素酸水の濃度は、人体に対しても安全。

※2：次亜塩素酸Naの濃度は、塩素系漂白剤(ハイター、カビキラー)の主成分のため人体への直接の接触は有害。

※3：市販アルコール消毒剤。

ファブリーズ、リセッシュに代表される市販の除菌消臭剤は、インフルエンザウイルスやO-157、ノロウイルスには効果がないもしくは少なく、比較対象とはしていません。

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水の有効性についての比較-2

微生物・ウイルス		弱酸性次亜塩素酸水 (40ppm)	次亜塩素酸 ナトリウム (1,000ppm)	エタノール (70%・90%)
ウイルス	ノロウイルス (ネコカリシウイルス)	◎	○	△
	インフルエンザウイルス	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
	エンテロウイルス	◎(10秒)	◎(10秒)	△
	ヘルペスウイルス	◎(10秒)	◎(10秒)	◎(10秒)
真菌	カンジダ	◎(10秒)	◎(10秒)	◎
	黒カビ	△(5分)	◎	◎
	青かび	△(5分)	◎	◎
アレル ギー物質	花粉	○	△	○
	ハウスダスト	○	△	○
	PM2.5	炭素、硝酸塩、硫酸塩、金属を主な成分とする様々な物質の混合物なので、 空気清浄器などと併用します		

出典：一般財団法人機能水研究振興財団 岡山大学

除菌効果または不活性化効果：◎>○>△>▲>×(無効)

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。



# 次亜塩素酸水の有効性について～空間噴霧-1

- 超音波加湿器等による「次亜塩素酸水」の空間噴霧には、浮遊菌・ウイルス、付着菌・ウイルスともに減少させる実験結果が公表されています。

参考 空気清浄加湿装置「エコシャワー」による浮遊菌および浮遊ウイルスの抑制試験  
(2020/06 北里環境科学センター調べ)  
[https://meni-tec.com/pdf/2020\\_0066.pdf](https://meni-tec.com/pdf/2020_0066.pdf)

[使用次亜塩素酸水のpHおよび濃度]

試験品		pH	有効塩素濃度 (mg/L)
次亜塩素酸水	(運転前)	6.0	21
	(運転後)	7.1	20

[浮遊菌 減少値および減少率]



図2. 経過時間ごとの浮遊菌数の対数減少値と減少率 (%)

[使用次亜塩素酸水のpHおよび濃度]

試験品		pH	有効塩素濃度 (mg/L)
次亜塩素酸水	(運転前)	6.0	22
	(運転後)	7.4	14

[浮遊ウイルス 減少値および減少率]



図2. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数の対数減少値と減少率 (%)

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 次亜塩素酸水の有効性について～空間噴霧-2

- 超音波加湿器等による「次亜塩素酸水」の空間噴霧には、**浮遊菌・ウイルス、付着菌・ウイルスとともに減少**させる実験結果が公表されています。

参考 「次亜塩素酸を活用した食中毒細菌およびウイルスの制御対策」  
(2020/06 三重大学大学院生物資源学研究科 福崎 智司教授)  
<http://www.mac.or.jp/mail/141001/02.shtml>

以下抜粋)

弱酸性次亜塩素酸水溶液の霧化微細粒子の噴霧気流が直接接触する固体表面であれば、希薄な水溶液の霧化噴霧でも効果的な殺菌を行うことが可能である。(中略)

霧化微細粒子を直接噴霧することにより105オーダーの大腸菌は2分以内に検出限界以下となる。(中略)

固体表面上のノロウイルス6)やインフルエンザウイルス7)にも有効であることが報告されている。(中略)

弱酸性次亜塩素酸水溶液の霧化噴霧は、人の皮膚や粘膜を刺激することなく低濃度で高い不活化効果を発揮し、室内の各種表面を濡らさない殺菌法として有望視されている。

このほかにもこれまでに実証・確認されてきた次亜塩素酸水の有効性・安全性につきましては「一般社団法人次亜塩素酸化学工業会」ならびに「一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議」のウェブサイトに詳しい情報が掲載されています。

[参考資料]

一般社団法人次亜塩素酸化学工業会 各種検証データ・学術論文等一覧  
(一般社団法人次亜塩素酸化学工業会ウェブサイト)

<https://hcia.or.jp/187>

次亜塩素酸水溶液 効能及び安全性に関するエビデンス一覧  
(一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議ウェブサイト)

<https://jia-jp.net/ebi.html>

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 10

# 安全性について

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 11

# 次亜塩素酸水の安全性について-1

- 「次亜塩素酸水」の安全性については各種機関、大学、省庁等において、**数多くの検証が行われ、安全性についての結果が公表されています。**

参考 2006/12 「添加物評価書 次亜塩素酸水」(食品安全委員会)

[https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc\\_ziaensosan181214.pdf](https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc_ziaensosan181214.pdf)

試験内容	試験結果
急性毒性試験	マウスに経口投与した結果、中毒症状及び死亡例なし
遺伝毒性試験	陰性
皮膚一次刺激性試験	ニュージーランドホワイต์ウサギを用いた試験で異常なし
皮膚累積刺激性試験	ニュージーランドホワイต์ウサギを用いた試験で異常なし
眼刺激性試験	ニュージーランドホワイต์ウサギを用いた試験で異常なし
感作性試験	ハートレイモルモットを用いた試験で異常なし

付記) 次亜塩素酸水について多くの報告があり、その中で

- 急性経口毒性試験
- 皮膚刺激性試験
- 急性眼刺激性試験
- 皮膚感作性試験
- 口腔粘膜刺激性試験
- 復帰突然試験
- 染色体異常試験

において変化は認められなかったとされている。

また、細胞毒性では、高濃度においてやや細胞の増殖が抑制されたが、他の市販の消毒薬と比較して毒性の少ないことを認めている。

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 12

# 次亜塩素酸水の安全性について-2

- 「次亜塩素酸水」の安全性については各種機関、大学、省庁等において、**数多くの検証が行われ、安全性についての結果が公表されています。**

参考 2013/8「特定農薬※評価書 電解次亜塩素酸水」(食品安全委員会)

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kya20130318278&fileId=201>

試験内容	試験結果
ラット及びマウスを用いた経口急性毒性試験	症状及び死亡例なし
28日間亜急性毒性試験（ラット）	関連する病理組織学的変化は認められなかった。
90日間亜急性毒性試験（ラット）	本剤投与による毒性所見は認められないと考えられた。
遺伝毒性試験	細菌を用いた復帰突然変異試験及びチャイニーズハムスターDON-D6細胞を用いた染色体異常試験について、全ての試験結果は陰性であった。
感作性試験	誘発操作72時間後までに感作性は認められなかった。
抗原性試験	静脈内投与して抗原性試験が実施された。アナフィラキシー反応は認められなかった。
皮膚累積刺激試験	皮膚刺激性は認められなかった。
眼粘膜一次刺激試験	刺激性は認められなかった。
反復浸漬経皮毒性試験	浸漬による皮膚への影響は認められなかった。

付記) 各種毒性試験及び刺激性に関する試験の結果、電解次亜塩素酸水 (pH 2.43~2.58) を用いた試験では口腔、食道及び胃の粘膜組織並びに舌に刺激性が認められる一方、電解次亜塩素酸水 (pH 5.67~6.3) を用いた試験では投与による毒性所見は認められなかった。

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 13

# 次亜塩素酸水の安全性について-3

- 「次亜塩素酸水」の安全性については各種機関、大学、省庁等において、実験動物レベルだけでなく、**人間のいる空間や人体に対しての使用についても検証が行われています。**

参考 「次亜塩素酸水溶液 効能及び安全性に関するエビデンス一覧」(次亜塩素酸水溶液普及促進会議サイト)

<https://jia-jp.net/ebi.html>

以下抜粋)

## 第五回機能水新薬と臨床Vol.46, No.11 北里研究所バイオアトリックセンター

「弱酸性電解水の有効性および頻回使用における安全性について」～手荒れ発現率は一般消毒剤の63%に比べ3.1～17.2%とはるかに少ない数値であった。頻回手洗いにおいて通常使用されている消毒剤とほぼ同程度の効果があり、手荒れが現れても速やかに消失する例が多く**臨床的にほぼ安全**であると考えられる。

## 第五回機能水シンポジウム 三菱水島病院

「次亜塩素酸水による病室の消毒と臨床的使用の可能性」～**噴霧は皮膚や目に刺激はなく、噴霧時の入室、臥床中の噴霧とも可能**である。

## 救急振興財団 救急救命東京研修所

「保育園、福祉施設における新型インフルエンザの感染拡大の抑制について 新型インフルエンザ感染経路遮断としての次亜塩素酸水の活用」～これまでの安全性試験からヒトが毎日飲水した場合に影響を受けない計算上の飲水量は、1日あたり6.4Lであり、**発がん性、変異原性等は報告されていない。**

## 日本食品分析センター

「雌ラットを用いる急性経口毒性試験(有効塩素濃度200ppmの電解次亜塩素酸類生成水を使用)」～**毒性なし**

## 東京農工大

「ラットにおける吸入毒性試験」～**毒性を惹起しない**

- 「次亜塩素酸水」は**手肌に触れても、吸入しても、万が一飲んでしまっても人体に害はありません。**

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 14

# 次亜塩素酸水の安全性について-4

## Q 空間噴霧して安全なの？

「WHOは消毒剤を噴霧することを推奨しない」  
「人体に噴霧することは、いかなる状況であっても推奨されない」

これはWHOが2020年5月に発表した「新型コロナウイルス感染症に係る環境表面の洗浄と消毒 中間ガイダンス」に記載された内容で、ファクトとしてよく引用されるものです。確かに消毒剤とされる刺激の強いアルコールや次亜塩素酸ナトリウムについては、噴霧による人体への被害も報告されており、人体に危険と認められます。

この内容をもとに厚生労働省などでは、「次亜塩素酸水の噴霧をおすすめしない」としています。しかしながら、次亜塩素酸水はそもそも消毒剤ではありません。

また、WHOの国際エイズ担当課長を16年間務めた北海道大学玉城名誉教授がWHOに問い合わせたところ、「次亜塩素酸水HOCLはこのガイダンスの対象ではない」と文書で正式回答を得ています。

次亜塩素酸水はここまでご紹介してきたように、その安全性については数多くの検証が実施され、その結果が公表されています。

海外では新型コロナの感染予防対策として、市中、施設内での噴霧や人体への噴霧も行われています。

このほかにもこれまでに実証・確認されてきた次亜塩素酸水の有効性・安全性につきましては「一般社団法人次亜塩素酸化学工業会」ならびに「一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議」のウェブサイトに詳しい情報が掲載されています。

[参考資料]

一般社団法人次亜塩素酸化学工業会 各種検証データ・学術論文等一覧  
(一般社団法人次亜塩素酸化学工業会ウェブサイト)

<https://hcia.or.jp/187>

次亜塩素酸水溶液 効能及び安全性に関するエビデンス一覧  
(一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議ウェブサイト)

<https://jia-jp.net/ebi.html>

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。 15

# 付属資料

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。



# 公的機関による実証

## 厚生労働省によるノロウイルスへの有効性調査

平成 27 年度

### ノロウイルスの不活化条件に関する調査 報告書

国立医薬品食品衛生研究所

食品衛生管理部

五十君 静信

野田 衛

上間 匡

### ノロウイルスの不活化条件に関する調査報告書

#### 1. 目的

ノロウイルスによる食中毒患者数は全食中毒患者数の約半数を占め、その制御は食中毒対策上重要な課題のひとつである。その重要な対策のひとつとして有用な消毒剤の確立がある。

ノロウイルスの不活化に有用な消毒剤として、現在、厚生労働省は「ノロウイルスに関するQ&A」において、次亜塩素酸ナトリウムを例に挙げている。次亜塩素酸ナトリウムの有効成分は、その水溶液中に存在する次亜塩素酸および次亜塩素酸イオンであり、それらの酸化作用による不活化・殺菌効果を示すとされている。

近年、次亜塩素酸ナトリウムと同様の塩素系消毒剤が各種市販されている。これらの消毒剤の殺菌効果は、その中に含まれる塩素化合物の濃度や有機物の存在量によって異なる。

#### ⑥ No.F (次亜塩素酸水)

有機物負荷のない条件では十分な不活化効果が認められた。負荷条件下では BSA 添加・3 分以上で不活化効果が認められた。

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 公的機関による実証

厚生労働省による次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの同類製に関する資料

## 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの同類性に関する資料

表1. 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの特徴の比較

	酸性電解水(次亜塩素酸水)	次亜塩素酸ナトリウム
1)供給・濃度:	ユーザーが製造・使用濃度	製品の市販・高濃度
2)使用: 有効塩素濃度	希釈せず、新鮮なうちに流水洗浄 20~60ppm(強酸性) 10~30ppm(微酸性)	希釈して浸置き使用 100~10,000ppm
3)化学的性状 主生成成分	酸性 次亜塩素酸(HClO) > 塩素(Cl <sub>2</sub> ) >> ClO <sup>-</sup>	アルカリ性 次亜塩素酸イオン(ClO <sup>-</sup> ) > HClO
UVスペクトル	酸性で220nm付近に吸収極大 アルカリ性で294nmに吸収極大	同左
4)安全性		
手荒れ	少ない	多い
環境負荷	少ない	多い
トリハロメタン	生成なし	生成あり

表2. 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの抗菌・抗ウイルス活性

病原菌・ウイルス	次亜塩素酸水 (40ppm: HClO)	次亜塩素酸ナトリウム (1,000ppm: NaClO)
黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i>	◎ (<10 秒)	◎ (<10 秒)
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌; 多剤耐性)	◎	◎
腸管出血性大腸菌 <i>Escherichia coli</i> O-157 H7	◎	◎
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	◎	◎
サルモネラ菌 <i>Salmonella</i> Enteritidis	◎	◎
腸炎ビブリオ菌 <i>Vibrio parahaemolyticus</i>	◎	◎
その他のグラム陰性病原菌	◎	◎
セレウス菌 <i>Bacillus cereus</i>	△ (3~5 分)	△ (3~5 分)
結核菌 <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	△ (~2.5 分)	▲ (~30 分)
ノロウイルス(ネコカリシウイルス: Feline Calicivirus)	◎	○
ヘルペスウイルス (Herpes virus)	◎	◎
インフルエンザウイルス (Influenza virus)	◎	◎

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 公的機関による実証

niteによる新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価に関する資料

## 次亜塩素酸水

新型コロナウイルスを用いた検証で、**一定濃度以上の次亜塩素酸水**が消毒に有効と判明！

- ①次亜塩素酸水（製造方法※によらず）：有効塩素濃度35ppm以上
- ②ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム：有効塩素濃度100ppm以上

※電気分解によるもの、異なる2つの液を混合することによるものなどがあります。

### 「次亜塩素酸水」で新型コロナを消毒！

- 物品の消毒を行う際には、物品の表面の汚れ（皮脂、動植物脂等）をよく落としてから、使用してください。
- 少量では十分に効果が発揮されないため、十分な量を使用してください。
- 使用に当たっては、製造事業者等が提供する安全情報や使用上の注意等を十分に踏まえて、適切にご使用ください。

※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

## その他、有効性・安全性についての検証結果

これまでに実証・確認されてきた次亜塩素酸水の有効性・安全性につきましては「一般社団法人 次亜塩素酸化学工業会」ならびに「一般社団法人 次亜塩素酸水溶液普及促進会議」のウェブサイトには詳しい情報が掲載されています。

[参考資料]

一般社団法人 次亜塩素酸化学工業会 各種検証データ・学術論文等一覧  
(一般社団法人 次亜塩素酸化学工業会ウェブサイト)

<https://hcia.or.jp/187>

次亜塩素酸水溶液 効能及び安全性に関するエビデンス一覧  
(一般社団法人 次亜塩素酸水溶液普及促進会議ウェブサイト)

<https://jia-jp.net/ebi.html>

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。

# 文責

株式会社パワーサポート

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3-7-17

Tel: 03-3441-3442 Fax: 03-3446-5768

Web: <https://www.pawasapo.co.jp/>

**※このページは成分としての「次亜塩素酸水」についての説明ページです。特定の商品についての説明ではありません。**

各省庁などの公的機関や大学、民間団体等において、成分としての「次亜塩素酸水」の殺菌効果やウイルスの不活化について有効性は認められ公表されているものの、特定の商品としての「次亜塩素酸水」はあくまで医薬品ではないため、「殺菌」「ウイルス不活化」等の文言の使用や特定のウイルス・菌などについての効果をうたうことはできません。